

お能、はじめまして。

2026年6月25日(木)～7月20日(月・祝)

主催:徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

600年以上にわたり受け継がれてきた日本の舞台芸術、能。古典文学に題材を求めたストーリーをもとに、役柄に応じて取り合わせられる面・装束類、謡や楽器の音色が織りなす幽玄の世界です。

尾張徳川家が収集し大切に守り伝えてきたコレクションを通して、能道具の多彩な表現をご紹介します。

- ・No.53は名古屋市蓬左文庫所蔵、そのほかはすべて徳川美術館所蔵です。
- ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。

No.	作品名称	作者・伝来	年代
はじめに～ようこそお能の世界へ～			
1	宝生大夫勸進能絵巻(模本)	桜井清香模写	昭和26年<1951>
1章 お能の道具「面」			
2	能面 白式尉	伝元休満総(越前出目家6代)作	江戸 18世紀
3	能面 中将 焼印「天下一河内」 朱漆花押	河内大掾家重(近江井関家4代)作	江戸 17世紀
4	能面 曲見	伝大宮大和真盛(近江井関家5代)作	江戸 17-18世紀
5	能面 般若 焼印「天下一是閑」 朱漆花押	是閑吉満(大野出目家初代)作	桃山-江戸 16-17世紀
6	能面 泥黒髭	伝出目栄満(弟子出目家初代)作	江戸 17-18世紀
▶▶能面はどう鑑賞したらいいの?「女面」			
7	能面 小面	伝是閑吉満(大野出目家初代)作	桃山-江戸 16-17世紀
8	能面 若女 朱漆花押	伝出目栄満(弟子出目家・元利家初代)作	江戸 17世紀
9	能面 萬眉		江戸 18世紀
10	能面 深井	伝河内井関(河内大掾家重・近江井関家4代)作	江戸 18世紀
11	能面 姥		江戸 17世紀
▶▶演目紹介①『杜若』/装束あわせ			
12	胴箔桜折枝文鬘帯		江戸 18世紀
13	初冠		江戸 19世紀
14	霞に花の丸文中啓		江戸 19世紀
▶▶能面はどう鑑賞したらいいの?「男面」「神面」			
15	能面 童子	伝出目満永(越前出目家4代目)作	江戸 18世紀
16	能面 今若		江戸 18世紀
17	能面 平太	伝徳若作	江戸 17世紀
18	能面 小尉		江戸 18世紀
19	能面 天神		江戸 18世紀
20	能面 雷 朱漆銘「出目満長(花押)」	出目満永(越前出目家4代目)作	江戸 17世紀
▶▶能面はどう鑑賞したらいいの?「人ならざる者は金で表現」			
21	能面 泥眼 焼印「天下一河内」	河内大掾家重(近江井関家4代目)作	江戸 17世紀
22	能面 生成		江戸 18-19世紀
23	能面 真角(筋怪土)	伝出目栄満(弟子出目家初代)作	江戸 17-18世紀
24	能面 小飛出		江戸 17-18世紀
25	能面 大飛出		江戸 17-18世紀
26	能面 獅子口 朱漆花押	伝吉成赤鶴一透斎作	桃山 16世紀
2章 お能の道具「装束」			
▶▶装束はどう鑑賞したらいいの?「豪華絢爛!女性の能装束を見てみよう」			
27	紅・白段簾に花の丸文唐織		江戸 18世紀
28	白地扇・尾長鳥文縫箔		江戸 17世紀
29	紺地唐草に卍文金襴側次		江戸 17世紀
参考	復元の唐織裂(鼠・茶(黒紅)段松に秋草文唐織)	山口能装束研究所作	平成8年<1996> 寄贈

No.	作品名称	作者・伝来	年代
▶▶演目紹介②『羽衣』/装束あわせ			
30	黄地枝垂桜に尾長鳥文金襴長絹		江戸 17-18世紀
31	能面 増 焼印「天下一近江」	近江満昌作	江戸 17世紀
32	天冠		江戸 19世紀
33	松に桜図中啓		江戸 19世紀

▶▶演目紹介③『鞍馬天狗』/装束あわせ			
34	萌黄地立涌に輪宝文金襴袷狩衣		江戸 17-18世紀
35	能面 大癒見		江戸 17世紀
36	羽団扇		江戸 19世紀
37	胴箔七宝文鬘帶		江戸 18-19
38	胴箔水葵文鬘帶		江戸 17
39	胴箔萩・菊・桔梗文鬘帶		江戸 18
40	胴箔桐唐草文鬘帶		江戸 18-19
41	白地撫子文鬘帶		江戸 18-19
42	茶地松唐草文鬘帶		江戸 18-19
43	胴箔稻穂文腰帶		江戸 18-19
44	紅地石畳菊文腰帶		江戸 18-19
45	萌黄地波頭文腰帶		江戸 19
46	紺地菱に木葉文腰帶		江戸 18-19
47	雲龍図中啓		江戸 18-19
48	松竹鶴亀図中啓		江戸 18-19
49	芦雁図中啓		江戸 19
50	浅葱地雲形梅楓図鎮扇	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸 19
51	蝶図鎮扇	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸 19

▶▶コラム お能の台本「謡本」			
52	百番謡本 100冊の内	伝観世黒雪筆 平戸松浦家伝来 岡谷家寄贈	江戸 17世紀
53	宝生流謡本 10冊の内		江戸 18-19世紀

3章 お能の楽器「四拍子」 ～物語の世界を演出～			
54	笛(能管)		江戸 17-18世紀
55	蕪蒔絵小鼓胴		江戸 18世紀
56	夕顔蒔絵小鼓 黒漆銘「弥左衛門(花押)」	弥左衛門作	江戸 18世紀
57	葡萄蒔絵大鼓		江戸 18-19世紀
58	朝顔蒔絵大鼓胴	伝2代弥助作	江戸 17世紀
59	朝顔籬蒔絵太鼓胴		江戸 19世紀
60	若松・鶴蒔絵太鼓		江戸 19世紀

4章 狂言の道具「面と装束と小道具」 ちょっと肩の力を抜いて狂言の世界へ			
61	狂言面 賢徳 焼印「和泉」	和泉作	江戸 18-19世紀
62	狂言面 うそふき		江戸 18世紀
63	狂言面 鷹 焼印「和泉」	伝和泉坊作	江戸 18世紀
64	狂言面 猿		江戸 18-19世紀
65	狂言面 伯藏主 銘「伯藏主 出目若狭大掾入道 藤原寿満(花押)作」 出目寿満(弟子出目家・元利家2代)作		江戸 17-18世紀
66	狂言面 狐 銘「狐」 朱漆銘「出目若狭大掾入道 藤原寿満 (花押)作」 出目寿満(弟子出目家・元利家2代)作		江戸 17-18世紀
67	山脇流狂言図 3帖のうち上巻		江戸 18世紀
68	龍図団扇(唐団扇)		江戸 18世紀

▶▶演目紹介④『井杭』/装束あわせ			
69	紅地花菱文錦・黄毛織鬼頭巾		江戸 17世紀
70	算木 附 算木袋・占本(狂言『居杭』用)		江戸 18世紀
71	海松茶地壺尽文肩衣		江戸 19世紀
72	萌黄地糸巻文長袴		江戸 19世紀
73	蜘蛛巣・柳に燕文染分素袍		江戸 18-19世紀